

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2016-04-01

No. 74



株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。
コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: 一般エミッション規格 IEC 61000-6-3、IEC 61000-6-4 の改定審議概要	3
IEC: 情報セキュリティマネジメントに関する共通用語集が改訂された	6
IEC: 新規格リスト	7
ISO: 新規格リスト	8
国際テーマ: UNECE: GTR No. 15 (全世界軽車両整合化試験手順 (WLTP))のフェーズ 2	10
国際テーマ: UNECE: 静音道路輸送車両 (ORTV)に関する新規制への提案	13
国際テーマ: インド: 電子情報技術製品登録制度 (CRS)におけるマーク表示	14
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	15

USA: FCC: KDB: 試験所の技術的評価のため認定機関に提供しているガイドラインは?	16
USA: FCC: Part 15: 5 GHz 帯免許不要国家情報基盤(U-NII)装置認可規則の改正	17
USA: FCC: Part 15: Headsight 社による超広帯域 (UWB) 規則の適用免除請願	18
USA: FCC: Part 15: L-3 社による新世代のスクリーニングデバイスへの適用免除請願	19
USA: CPSC: 子供向けおよび子供向け以外の消費者製品への試験および証明書要求	19
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	24
カナダ: CS-03 Part I — アナログ通信線への直接接続端末機器(TE)等への要求	25
カナダ: CS-03, Part VIII — xDSL 端末機器への要求事項及び試験方法	25

EU: 新電圧指令(LVD)、新電磁両立性指令(EMCD)、2016/4/20 から適用	27
EU: R&TTE 指令が改訂され、新無線機器指令(RED) 2014/53/EU、2016/6/13 から適用	28
EU: 全車両型式承認システム(WVTA)に関し指令 2007/46/EC の見直し	28
EU: 玩具安全指令 2009/48/EC: 適用に関するガイダンス文書更新	29
EU: 玩具安全指令 TSD 説明ガイダンス文書新版(Rev 1.9)、発行	30
EU: CENELEC: 新規格リスト	31
EU: ETSI: 新規格リスト	33

中国: CQC: 家庭用および類似用途の電気制御装置の認証への新版認証規則実施	34
中国: CQC: 商業用エアコンのインテリジェント化の認証業務開始に関する通知	34
中国: CQC: 家庭用および類似用途の反浸透浄水器の節水認証業務開始に関する通知	34
中国: CQC: 水冷式マルチエアコン (ヒートポンプ) の省エネルギー認証業務開始	35
中国: CQC: チラー製品の省エネルギー認証: 新版規格と認証規則実施に関する通知	35
中国: 新規格リスト	36
台湾: 預告修正 検査を適用する自動データ処理機などの 4 項目の商品の関連検査規定	37
台湾: 「エアコン商品」の性能検査規格 CNS 3615 (2013 年版) による性能検査測定	38
台湾: 新規格リスト	38
韓国: 無線 LAN 測定方法の簡素化のため電磁波吸収率の測定基準告示を改正	39
韓国: 電波ノイズの測定方法告示の廃止	39
韓国: 無線設備の空中線電力と電波応用機器の高周波出力の測定等の一部改正 (案)	40
韓国: 「電気用品安全管理法」が「電気用品及び生活用品安全管理法」に改正	40

総務省: 平成 27 年度無線設備試買テストの中間結果報告 (3 月期)	41
総務省: ワイヤレス電力伝送システムの高周波出力の測定方法の一部を改正する告示案	41
総務省: 経済産業省: 新無線機器指令に係る適合性評価手続の結果の外国との相互承認	42
経済産業省: 家庭用電気機器の待機時消費電力の測定方法に関する等の JIS の制定	43
経済産業省: コスモス・ニュース: 電源プラグのトラッキング対策はお済でしょうか?	43
経済産業省: 電気自動車等の普及に向けて、「EV・PHV ロードマップ」のとりまとめ	44

ちょっといっぶく: 小クイズコーナー 4 月 20 日から強制となる欧州指令は?	15
コスモス・コーポレイション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	26
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: 一般エミッション規格 IEC 61000-6-3、IEC 61000-6-4 の改定 審議概要

- 一般エミッション規格 IEC 61000-6-3、IEC 61000-6-4 は、第 2.1 版が 2011 年 2 月に発行された後、その修正審議が行われている。
- 第 2.1 版の修正案として、それぞれに対する 3 回目の CD 文書が 2015 年 5 月に各国 NC に回覧された。これら CD 文書への各国コメントに対し WG1 としての結論と今後の方向性を審議する会議が 2016 年 1 月にアムステルダムで開催された。
- 本稿では、その会議に至るまでの審議経過とアムステルダム会議の結果を含めた修正案概要について解説する。

国際テーマ: UNECE: GTR No. 15 (全世界軽車両整合化試験手順 (WLTP))の フェーズ 2

- UN グローバル技術規制 No. 15 (全世界軽車両整合化試験手順 (WLTP))は、準備段階で、汚染及び CO2 のエミッションに関して軽量自動車車両用新試験サイクルを開発する政治的緊急性が各種機関により表明され、それに焦点を絞ったフェーズ Phase 1 の開発を終えた。
- 今後のターゲットであるフェーズ Phase 2 を開発することの承認を求める提案が、ここに提出されている ECE/TRANS/WP.29/2016/29。
- わが国では、国土交通省により、「乗用車の燃費試験法に国際基準 WLTP を導入します！～環境性能に優れた自動車の普及促進に向けて～」が発表。

USA: FCC: KDB: 試験所の技術的評価のため認定機関に提供しているガイド ラインは？

- 電磁環境試験 (EMC 測定) を実施している試験所の技術的評価を実施する認定機関に、FCC が提供しているガイドラインは？ 最近行われた改定分を含め、本稿 KDB に掲載の各種添付文書により、規定。

USA: FCC: Part 15: 5 GHz 帯免許不要国家情報基盤装置(U-NII) 認可規則の 改正

- 米国通信委員会は、5GHz 帯での免許不要国家情報基盤 (U-NII) 機器の使用を許可するため、委員会規則パート 15 の改正に関する略式意見および命令を、公開した。

EU: 新低電圧指令(LVD)、新電磁両立性指令(EMCD)、2016/4/20 から適用

- これら新指令は新法制枠組み NLF 政策に調整され、事業者の義務事項、トレーサビリティの要求などに変更が加えられた。
- 放送受信機器を含めて無線機器は、新 EMC 指令 新低電圧指令の対象外、新無線機器指令の対象。固定線端末機器は、新無線機器指令の対象外、新 EMC 指令 新低電圧指令の対象。

EU: R&TTE 指令が改訂され、新無線機器指令(RED) 2014/53/EU、2016/6/13 から適用

経済産業省: 家庭用電気機器の待機時消費電力の測定方法に関する等の JIS の制定

社長の独り言

平成 28 年 3 月 25 日
濱口 慶一

皆様がこのコラムを読んでいただいている頃には、桜の花も遠く北の地方に移動していると思います。三重県では 2 月頃から寒桜でしょうか、風だまりの庭に桜を見かけます、その後、梅、桜、そして桃の花の順番に私達を楽しませてくれます。

趣味の日本蜜蜂も、今年は 3 群が越冬をしてくれたと安心して業務に邁進していたら、どうも特殊なダニがわいたようで、それが原因なのか、逃亡の憂き目にあい全滅してしまいました。蜜蜂達の死骸が無いので冷えからの逃亡かも知れません。自宅周りに沢山の花が咲く季節になっても蜜蜂の飛び回るのが目に入らないのが少し気になりますが、分蜂の時期が迫っているので何とか捕獲したいと思うところです。

皆様のご支援のおかげで、本来の業務の方では、今年コスモス・コーポレーションは 10 月 31 日に満 30 年の誕生日を迎えることが出来そうです。国内、海外ともに少し景気が良くないように思いますが、粘り強く活動して社員一同で創立 30 周年を迎えたいと考えています。私も 68 歳を迎えることになるので、コスモスを社員とお客様にさらに信頼を得ていただけるように、経営理念を明確にして、確実に事業継承を進める考えです。先日もコスモス協議会が開催され、社長として、日本で唯一の私設の認証機関として、お客様である企業、その製品を購入される消費者の方々により安心安全をお届けができる様に頑張っていこうと決意を新たにしましたところ。国内外での製品安全上の事故をどこよりも早く正しく学び、お客様の製品から同じ事故が起きないように、認証審査や評価試験時に現行規制では扱われていないようなことでも、情報としてお客様に書面で報告させていただきたいと思います。

また、日本国内で日本の法律の下に活動させていただいておりますので、法令遵守の立場でも最大限に国に事業税を納入できるように、無駄をしない経営を進めたいと思います。外資系機関には、日本企業から得た利益を事業税として日本政府に納入せず、租税回避をしている所もあります。明確な数字は不明のようですが、250 万社が国内に企業として登録されていて、そのうちの 35% くらいしか事業税を納めていません。信じられない状況に思えます。すべての企業はお客様に支持され、社員の幸福と、その組織の将来の発展への設備投資を適切に実施した後は、国内での経済活動の義務として、企業の義務として事業税と支払うべきだと私は思います。国が 1000 兆円からの借金があり心配する声もありますが、国内企業すべてが納税できるようにする姿勢を持てば、この国の借金返済も難しくないと考えます。もちろん企業と同じで、無駄使いを最小にする努力もしていただきたいと思います。

国内唯一の私設の製品認証機関として、創業 30 年の色々な経験と知識を組み込んだ、コスモスの製品安全マーク"CSC"マークを是非、企業のお客様は御採用下さい。また消費者の方は、"CSC"マークの付いた製品は私達が真心を込めて評価したものですので、是非購入時の条件としてご参照下さい。何処の国で生産されていても、私どものスタッフが現地で工場検査を実地した証のマークです。

どうか今後とも御支援、ご高配を宜しくお願い申し上げます

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行：年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購読案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2016-04-01 (No. 74)

発行所：株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人：濱口慶一

編集人：倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2016 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。